

八戸

八戸市の長者中学校3学年委員会(金入教人委員長)は19日、同校で特別授業「流れる芸術フルイドアート」に挑戦する生徒



3色の絵の具を組み合わせ、フルイドアートに挑戦する生徒

抽象アートに挑戦 長者中で特別授業

ドアートに挑戦!」を開き、3年生約80人が抽象的なアート制作を楽しんだ。

フルイドアートは、キャンバスの上に絵の具を流して模様を作り出す技法。現代美術家で、八戸学院大学短期大学部の池田拓馬准教授が講師を務めた。

生徒たちは選んだ3色の絵の具で層を作りながら一つのコップに入れた後、キャンバスに移した。池田准教授から「作品に失敗はない」などと助言を受け、思い思いにキャンバスを傾けては偶然に出現する色や形を楽しんでいた。

制作後、池川綾芽さんは「色がきれいに重なった。簡単にでき、楽しかった」と話した。(下館悠々)